

日本学術会議第二部役員会（第24期・第9回） 議事要旨

1. 日時 令和元年6月27日（木） 12:00～12:30

2. 場所 日本学術会議5階 5-B会議室

3. 出席者 石川部長、平井副部長、丹下幹事

4.

5. 議事

1) 前回議事録の確認

2) CSTI 出席報告

石川部長から以下の報告があった。学術会議に対して基礎研究力の評価と強化に関する提案が求められ、各部から2名がCSTIで意見表明を行うことになった。第二部からは石川部長と小安会員が2019年6月13日開催の会議に出席した。石川部長からは、本庶先生の例を挙げ、実績のある研究者を対象に、これまでの研究活動の中で得たアイデアをイノベーションに結び付けるための機会として、10年程度の研究期間のファンドの創設の提案があり、小安先生からは、厚労省が進めている専門医（研修医）の受入数の病院ごとの上限設定の影響について発言があった。CSTIからは、7月を目途に提案書の提出が求められている。

3) 日本医学会連合との懇談について

山極会長の出席を得て、2019年7月2日に医学系の会員を中心とする学術会議メンバーと日本医学会連合との懇談会が開催されることが報告された。事前に出席者から意見聴取が行われ、臨床研究法に伴う観察研究の制約が話題の一つとなっている。石川部長から、薬学系、看護・家政系、農学系と学術会議との連携についても進めるようにとの要請があった。

4) International Gene Editing Commission について

学術会議から推薦した阿久津先生がメンバーに選ばれ、ワシントンとロンドンで開催される計3回の会議に出席予定であるとの報告があった。旅費については、2回分は学術会議で手当てし、1回分についてはCommissionに要請することが報告された。

5) 学術の展望 2020 第二部関係執筆項目案について

第二部担当が、医学系に偏っていることから、基礎研究を含められないか、検討することとなった。